

# エコな乗り物大集合！関西サイクルで温暖化ストップ。

## ECO FESTA 2011 in kcsc

# 産・官・学・民が結集して 話題のエコカー大パレード

■台風12号・15号によって被災された方々に深くお見舞い申し上げます。私たち2640地区・河内長野ロータリークラブでは、同じ2640地区の被災地ロータリークラブを通じて、被災された皆様に義援金によるご支援を行わせていただいております。

■ゴルフ場のカートを譲り受け、本業の合間にソーラーカーに改造。インタビューを受ける井上さん



■「太陽光エネルギーを使って環境を護っていくという小さな輪を投げていきたい」と、阪口会長



■千ガ03は、地元の子島由晃さんと芝野元昭さんが愛するソーラーカー。2人は18年前からソーラーカーを手づくりし、鈴鹿でのレース出場を重ねてきた



■大正工業若葉会のレースカー。内部の状況もご覧ください…と



■野迫川村の登録ナンバーをつけた木製の手づくり自動車



■「チャリティアイコンサート」で活躍した「河内長野ロータリークラブ」のお姉さん



■大阪府の温暖化防止キャラクター「モット・キットちゃん」も登場してのショーを開催。ちょっとむずかしかったけど、地球温暖化についてのお勉強もしましたよ



■ドレスを着て2周。キツかったけれど楽しかったワ



■「ケロちゃん」と「フルちゃん」も一緒に。ダレ、足を止めているのは…



■1周 400m のピストバンクを2周。ちょっと大変かな…?



天気が危ぶまれる中で着々とその準備が進められてきたエコイベント・エコカー大パレードは、まるでその本番を応援するかのような好天にも恵まれて、終始なごやかなイベント開催となった(当日の入場者3600名)。

そもそもこのイベントの開催は、河内長野ロータリークラブの阪口武夫会長が、「河内長野市はまちの70%が自然。それだけでも充分」

この会長の想いをしっかりと受け止めた同クラブのロタリアンたちは、次

コのみち・コといえる良

好な環境ではあるけれど、この環境をこれからも維持していかねばならない。その象徴的なイベントとしてソーラーカーを走らせてみよう」と言葉にしたことが発端となったものだ。

ここで特筆すべきはこのイベント開催の「言いだしっぺ」である河内長野ロータリークラブの持つユニークさだ

関西サイクルスポーツセンターの山下さん。「地球に優しい自転車のことをもっと」と

る。そのユニークさというのは、まずこのイベントを開催するための横断的人脈とそれをつなぐ行動力。そしてこのイベントで見た自らの参加したという意欲と技術力だ。

人脈と行動力はイベントを大成功に導き、その意欲と技術力はソーラーカーのパレードに5人を乗せて堂々の参加という形となった。これらを、仲間が手づくりしたソーラーカーに同乗したクラブ員は、「もう感動です。涙が出ました」という

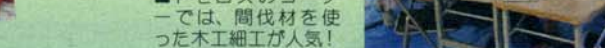
■河内長野ガスの出展コーナーでは、燃料電池カートが子どもたちに大うけ



■「ソラえもん号」は大阪産業大学から参加。記念撮影のサービスでモテモテでした



■ここでは丸太を切ってオリジナルコースター作り。あなたもいかが…



■トモロスのコーナーでは、間伐材を使った木工細工が人気!

